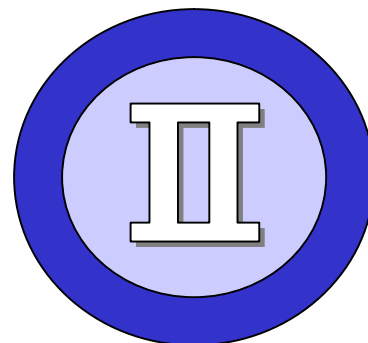




平成 30 年度予算編成 方針に掲げた重点施策

編成方針に掲げた3つの重点施策

地域 共生 社会

あらゆる人が安全・安心に過ごせる快適でにぎわいあるまちへの取組 71億円

詳細はP14,15

地域

- 女性、高齢者などあらゆる視点を踏まえた災害対策の取組
- エレベーター事故の根絶に向けた取組
- 周辺環境と調和した快適で過ごしやすいまちづくりを推進する取組
- 地域のコミュニティ・にぎわいを支援する取組



全ての子どもたちを健やかに育むまちへの取組

158億円

詳細はP16,17

共生

- 保育定員の拡大と保育環境の充実
- 様々な課題を抱える家庭・子どもに寄りそう支援の強化
- 児童・生徒数増加への対応と可能性を広げる教育の充実
- 教員が子どもと向き合える時間の創出



誰もが健康で心豊かにいきいきと暮らせるまちへの取組

52億円

詳細はP18~20

社会

- がん対策推進、健診充実など働き盛り世代の健康をトータルで守る
- 障害者就労支援など社会参加や生活の場の確保の充実
- 地域包括ケアシステムの推進等、高齢者が自分らしくいきいきと暮らせるための取組の充実
- 文化、価値観等の多様性、人格、個性など人権を互いに尊重し、支え合う共生社会づくりの推進
- 東京2020大会に向けた港区ならではの文化プログラムの推進、障害者スポーツの振興



※平成 30 年度の重点施策の中から新規事業、臨時事業、レベルアップ事業を中心に紹介します。

あらゆる人が安全・安心に過ごせる快適でにぎわいあるまちへの取組 70億6,789万円

● 女性、高齢者などあらゆる視点を踏まえた災害対策の取組

9,952万円

○備蓄食料の食物アレルギー対応や、女性・高齢者・乳児にこれまで以上に配慮した衛生用品の購入など、備蓄物資を充実し災害への備えを強化します。

○言葉の不安を軽減し、外国人の防災意識を向上させるため、外国人が多く居住し、大使館も多く立地する麻布地区で、区内事業者・港区国際防災ボランティア・消防署などと連携した外国人のための防災対策イベントを実施します。



● エレベーター事故の根絶に向けた取組 2億9,038万円

○エレベーターによる事故を根絶し、区民の安全・安心を守るため、マンションの既存エレベーターへの安全装置等設置費用の助成、区有施設エレベーターの戸開走行保護装置設置や更新工事を実施します。

● 周辺環境と調和した快適で過ごしやすいまちづくりを推進する取組

一部再掲：詳細は P11

17億7,357万円

○東京 2020 大会に向け、地域の実情に応じたバリアフリー化を推進するため、道路整備、電線類地中化、快適なトイレ整備や歩道の段差解消などを実施します。

○都市部特有の暑さ対策として、新橋駅西口広場やお台場レインボー公園にミストを活用したクールスポットを設置します。

○区の貴重な地域資源である水辺空間の魅力を更に高め、景観形成の向上、地域コミュニティや観光・産業の活性化を図るため、橋りょうのライトアップを実施します。

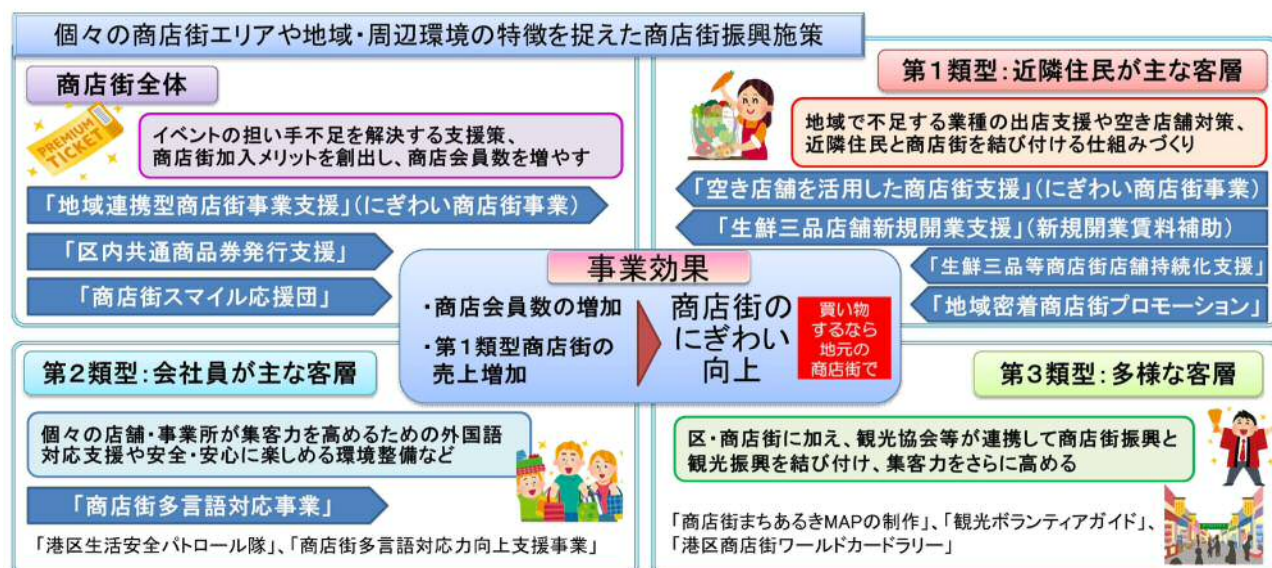
○誰もが安全・安心に快適で過ごしやすいまちづくりを推進するため、みなとタバコルール、客引き防止、落書き対策などまちのマナー・ルールを徹底します。



● 地域のコミュニティ・にぎわいを支援する取組

3億5,661万円

- 町会・自治会活動を支援するため、活動応援個別プログラム及び活動の魅力を伝える冊子等を作成します。また、会員数150名以下の町会・自治会が実施する協働事業の経費の一部を補助します。
- 商店街利用者及び商店会員数の増加、商店街のにぎわい向上を図るため、個々の商店街エリアや地域・周辺環境の特徴を捉えた商店街振興施策として、地域連携型商店街事業、地域密着商店街プロモーション、商店街多言語対応事業などを実施します。
- 区内観光事業の振興を担う観光協会の自主的かつ活発な活動を支援するため、平成30年度の法人化に伴う会計事務等への対応、HPの多言語化・スマートフォン対応及び観光情報誌発行に係る経費を補助します。



● その他の取組

事業名 (主な事業内容)	予算額
市街地再開発事業支援 (市街地再開発事業への補助)	43億783万円
芝浦港南地区水辺の散歩道の整備 (芝浦西運河沿緑地の整備)	7,474万円
泳げるお台場の海創生事業 (お台場海水浴と水質改善への取組)	5,734万円
シティプロモーション推進事業 (港区観光大使の選定)	4,391万円
ワールドプロモーション (VRを活用したプロモーション映像作成)	2,238万円
家具転倒防止対策等促進事業 (自宅でケガをしない対策支援)	1,572万円
防災行政無線難聴対策 (280MHz帯防災ラジオ配布対象の拡大)	1,142万円
生物多様性推進事業 (緑と生きものの観察会及び調査会等の充実)	935万円
バリアフリー観光の推進 (バリアフリーまち歩きMAP英語版の作成)	514万円

全ての子どもたちを健やかに育むまちへの取組

158 億 87 万円

● 保育定員の拡大と保育環境の充実

再掲：詳細は P6,7

90 億 3,582 万円

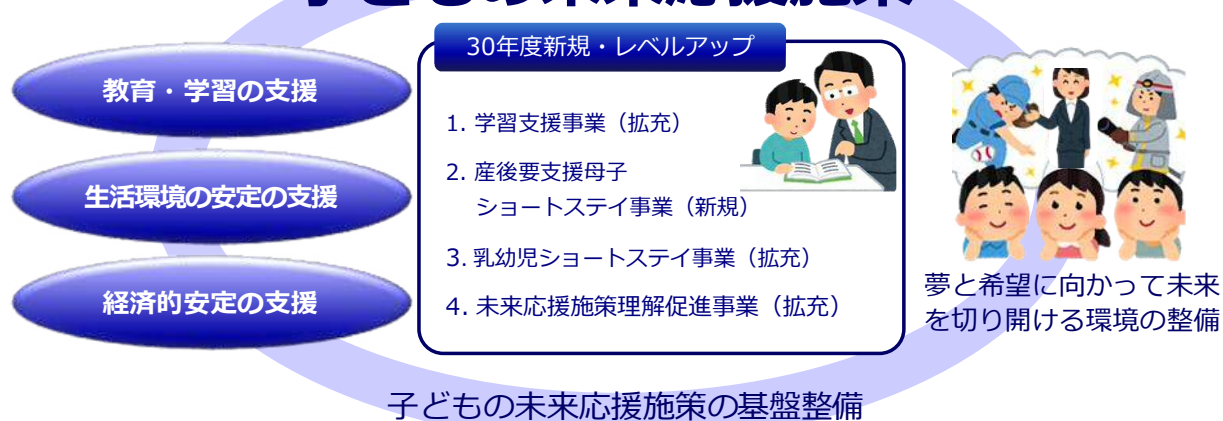
- 保育定員の更なる拡大に向け、（仮称）新橋保育室の開設、（仮称）元麻布保育園の整備、私立認可保育園の誘致などに取り組みます。
- 保護者の子育てと就労の両立支援を充実するため、病中や病気の回復期等で保育園での集団保育が困難な乳幼児を一時的に預かる病児保育事業を新たに（仮称）赤坂病児保育室で実施します。
- 在宅子育て中の保護者に対する一時預かり等の子育て支援サービスの充実を図るため、あっぱい白金台を開設します。

● 様々な課題を抱える家庭・子どもに寄りそう支援の強化

2 億 4,492 万円

- いきいきと子育てを楽しむことができるよう、多様な文化や人との出会い・交流や学習の場として子育てを応援するとともに、子どもと家庭の状況に応じ、迅速、丁寧な相談、支援を総合的に行うため、子ども家庭支援センター、児童相談所（一時保護所を含む）、母子生活支援施設の複合施設「（仮称）港区子ども家庭総合支援センター」を平成 33 年 4 月に開設します。
- 全ての子どもたちが夢と希望に向かって挑戦できるよう、中学生を対象に実施している学習支援事業を高校生まで拡大するなど、子どもの未来応援施策を推進していきます。

子どもの未来応援施策



● 児童・生徒数増加への対応と可能性を広げる教育の充実

44 億 2,029 万円

- 児童・生徒数の増加に対応し、より良い教育環境と安全・安心な教育施設を確保するため、幼稚園・小学校・中学校の増改築等を実施します。また、小・中学校 6 校の特別教室等を普通教室に改修します。

○ICT環境を整備することで児童・生徒の学力、情報活用能力の向上を検証するため、モデル校として小学校1校において全児童にタブレット端末を配備します。

○外国人児童及び帰国児童の日本語習得を目的とした日本語学級を麻布小学校と六本木中学校に新たに設置します。また、幼稚園教育の一環として幼稚園教育時間終了後の預かり保育を充実し、多様な教育需要に対応します。



● 教員が子どもと向き合える時間の創出

2億5,542万円

○教職員の負担軽減により、教員が児童・生徒と向き合う時間の創出やワークライフバランスの推進を図るため、留守番電話装置の設置、学校施設開放調整業務の委託化、部活動指導員等の更なる活用などを実施します。



● その他の取組

事業名（主な事業内容）	予算額
学童クラブ（区有施設や民間ビルを活用した学童クラブの実施）	9億9,408万円
放課GO→クラブ（放課GO→クラブの新規開設、定員拡大）	2億1,026万円
新教育センター等整備（新教育センター等の整備工事の実施）	6億4,009万円

誰もが健康で心豊かにいきいきと暮らせるまちへの取組 51 億 8,587 万円

● がん対策推進、健診充実など働き盛り世代の健康をトータルで守る

再掲：詳細は P8,9

13 億 5,962 万円

○がんの早期発見・早期治療を一層促進するため、各種がん検診の受診期間を2か月延長し、受診機会の拡大を図ります。また、就労継続や社会参加の支援など、がん患者とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、平成30年4月にがん在宅緩和ケア支援センターを開設し、地域の医療機関等との連携や相談機能を充実します。

○働き盛り世代の健康づくりを推進するため、30歳代を対象とした区民健康診査（30（さんまる）健診）や骨粗しょう症検診を、区民に身近な医療機関等で実施します。また、子育て・働き盛り世代の禁煙外来治療費を助成します。



● 障害者就労支援など社会参加や生活の場の確保の充実

12 億 8,151 万円

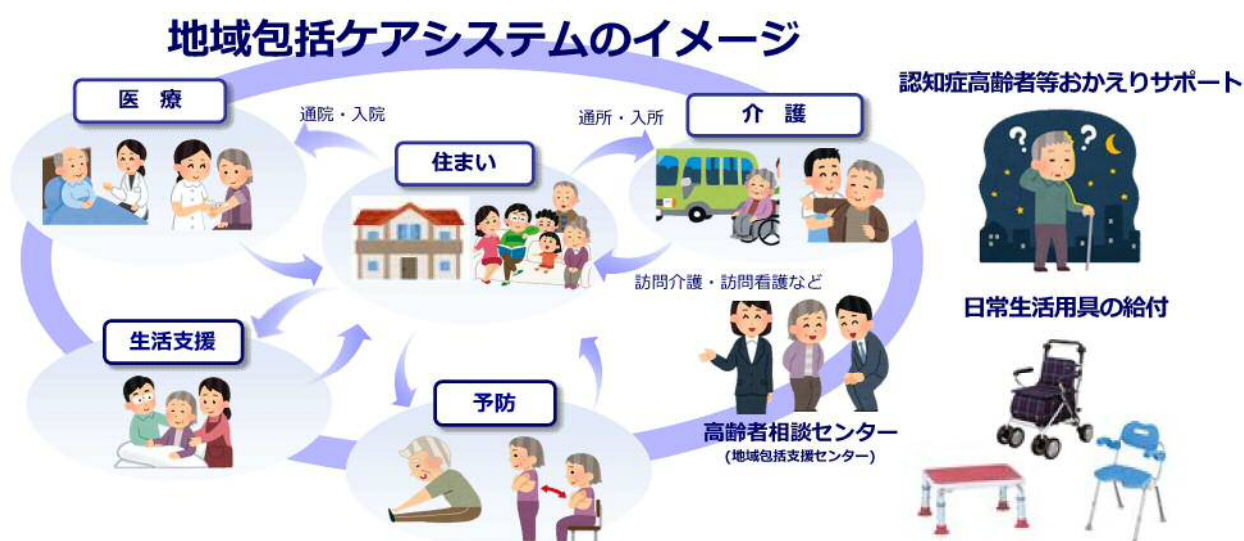
○みなと障がい者福祉事業団の事業を充実し、障害者への就労支援を強化します。また、特別支援学校等に通う重度障害児のための土曜日の日中一時支援を月1回から2回に拡大し、日中の居場所づくり支援を強化します。

○こども療育パオや発達支援センター相談室の相談日を拡大します。また、工房アミやみなとワークアクティの利用時間を増やすなど、障害者の各種相談の充実と居場所の確保を進めます。

● **地域包括ケアシステムの推進等、高齢者が自分らしくいきいきと暮らせるための取組の充実** **5,493 万円**

○在宅医療・療養を必要とする区民が、在宅でも安心して医療が受けられるよう、在宅医療・療養・介護相談連携窓口を増設し、全地区を対象に事業を実施します。

○徘徊の恐れのある方や家族を支援する認知症高齢者等おかえりサポート事業を全地区で実施します。また、在宅高齢者の日常生活支援を充実するため、歩行・入浴補助用具などの日常生活用具を給付します。



● **文化、価値観等の多様性、人格、個性など人権を互いに尊重し、支え合う共生社会づくりの推進** **6 億 4,729 万円**

再掲：詳細は P10

○やさしい日本語を地域の共通言語として広く展開し、外国人が地域社会の一員として共に考え、行動し、支え合う「多文化共生社会」を推進するため、やさしい日本語を用いた外国人の日本語習得支援の仕組みを構築します。

○子どもから高齢者まで、国籍、障害の有無にかかわらず一緒になって楽しめるイベントとして、港区マラソンを新たに開催します。

○世界人権宣言 70 周年を契機に人権啓発を一層推進するため、性的マイノリティ、障害者、外国人の人権などをテーマとした人権啓発講座や人権意識調査を実施します。



● **東京 2020 大会に向けた港区ならではの文化プログラムの推進、障害者スポーツの振興**

再掲：詳細は P10,11

1 億 5,422 万円

○東京 2020 大会の気運醸成とレガシー創出、文化プログラムの魅力発信のため、文化プログラム連携事業ガイドブックの作成や誰もが鑑賞できる文化芸術イベントを実施します。

○東京 2020 大会を見据え、障害者スポーツの普及と誰もがスポーツを楽しめる環境整備を推進するため、障害者スポーツを体験できる講座・イベントの開催、スポーツセンターにおける障害のある人も利用しやすい更衣室・シャワー室の改修、障害者スポーツ用具の購入を実施します。

● **その他の取組**

事業名	予算額
南麻布四丁目福祉施設整備	8 億 7,013 万円
(仮称) 南青山二丁目公共施設整備	3 億 8,012 万円
精神障害者地域活動支援センター等整備	3 億 5,704 万円
特別養護老人ホームエレベーター増設支援事業	5,000 万円
麻布いきいきプラザ等改築	1,777 万円
麻布地区福祉施設整備	745 万円
障害者就労支援施設との連携によるリサイクルの推進	341 万円
骨髄移植ドナー支援事業	113 万円
成年後見制度利用促進事業	108 万円
公衆浴場活用振興推進事業	16 万円